

就任ごあいさつ



教育長
高橋 澄子

飯館村への感謝を胸に教育行政に取り組みます

令和7年1月30日付で、教育長を拝命しました高橋澄子です。飯館村の復興の重要な役割をもつ教育の充実・発展を図ることが大きな使命と心得、その職責の重さに身の引き締まる思いです。私は飯館村に2度勤務経験があります。1度目は結婚を機に飯館村民となり平成5年度から5年間、白石小学校に教諭として、2度目は平成13年度から3年間、飯館村公民館に派遣社会教育主事として勤務しました。

白石小学校では素直で元気一杯の子どもたち、協力的な保護者、仕事に前向きに取り組む同僚の先生方に囲まれ、多くのことを学びました。飯館村公民館勤務では、映画祭や地域スポーツクラブの立ち上げ、男女共同参画プランの策定など様々な事業に関わり、社会教育の重要性を強く認識しました。教員生活を40年勤め上げられたのも飯館村での勤務経験のおかげと感謝の念で一杯です。これからは飯館村への恩

返しとして教育行政に携わって参りたいと思います。さて、今は変化が激しく先行きが不透明で、将来の予測が困難で正解のない時代だとも言われています。このような時代ではありますが、子どもは村の未来！村民一人一人の学びがその未来を豊かで輝かしいものにしていくのだと考えます。0歳から15歳までの子どもたちがままでの里のこども園。いいいて希望の里学園です。すぐと竹のようになやかに成長していく姿と、村民一人一人が生涯にわたって学び続けていく姿が融合することにより村長が掲げる「わくわくする村」のベースが築かれます。「村づくりは人づくり」という考えを大前提に微力ながらも村民の皆様と共に手を携えて教育行政に邁進していく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

高橋澄子 教育長 旧鹿島町、旧原町市、相馬市など相双地方の小学校に教諭・教頭として勤務。飯館村では平成5年度から白石小学校で5年間、平成13年度から派遣社会教育主事として飯館村公民館に3年間勤務し、その後、相双教育事務所社会教育主事を経て、二本松市立安達太良小学校、新地町立駒ヶ嶺小学校、新地小学校などで校長を歴任しました。

こども園・希望の里学園で豆まき

2月3日、ままでの里のこども園といたて希望の里学園で、節分の豆まきが行われました。

ままでの里のこども園の3歳未満児クラスでは、新聞紙を丸めて豆に見立てたものを、鬼に向かって一斉に投げ退治。3歳以上児クラスでは自作のお面や被り物を身につけ、大きな声を出して現れた鬼に驚きながらも、懸命に豆を投げ、鬼退治をしました。

いたて希望の里学園では、玉入れのかごに鬼の絵を付け、そこに向かって球を投げるレクリエーションが行われました。児童生徒は自分の中にある「追い出したい鬼」をそれぞれ絵にして、自分の治したいところなどを思い浮かべながら、一生懸命球を投げました。



こども園



学園

おいしいイチゴ、みんなでいただきました！

2月4日にままでの里のこども園の園児、2月6日にいたて希望の里学園の児童が、二枚橋地区にある「いたて佐藤いちご園」に、イチゴ狩りに出かけました。今回のイチゴ狩りは、同園の代表である佐藤博さん(二枚橋・須萱)が企画したものです。「冬場は子ども達が楽しめるレクリエーションが少ないと思い、昨年に引き続き実施しました」と佐藤さん。子ども達は甘いイチゴを頬張り、満面の笑顔を浮かべていました。



いつもやさしく接して下さる佐藤さんご夫妻との心温まる交流も。素敵な贈り物もありがとうございました！



学園

いたて希望の里学園

